

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	長井市すみれ学園			
○保護者評価実施期間	令和7年1月8日		～	令和7年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数)	20人
○従業者評価実施期間	令和7年1月8日		～	令和7年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	9人
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月8日		～	令和7年1月24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	12施設	(回答数)	10施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、看護師などの多職種で連携して支援している。	それぞれの専門職が対象児童に関わることで、対象児童の成長につながっている。	ケース検討会を開催したり、さらに個々の力をのばすための工夫を行いたい。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報共有が中心となっており、助言までに至っていない。	利用児童についてのアセスメント、目標の把握といった点において課題がある。	施設等の困りごとにも適切な助言ができるよう、事業所内で情報を共有し、対応していく。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名

長井市すみれ学園

公表日 令和7年2月14日

利用児童数

23人 令和7年1月24日

回収数

20人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	12	0	0	8	・整えられていると思うがはっきりわからない ・教具教材が何かわからない	間接支援を中心に行っており教具教材を現在支援に使用することはありません。必要に応じて適宜対応してまいります。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	19	0	0	1		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	19	0	0	1		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	16	0	1	3	・いつ学校に行っているかわからない。訪問して何か月後かに行きましたと文書で知る	保育所等訪問支援については訪問先の保育所や学校との調整もあるため事前に周知することが難しい状況です。後日報告書という形で保護者に報告しております。また、送迎などで保護者とお会いできる場合はその日のうちに保育所等訪問支援を行ったことをお伝えしています。
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	16	2	0	2		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2	0	1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	2	0	1		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	15	0	1	4		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	5	・保育所等訪問支援ガイドラインを知らない	保育所等訪問支援ガイドライン等を参考に支援を行っております。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1	0	4		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	15	1	0	4		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	1	1		

保護者への説明等	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	1	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	14	5	1	0		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	17	2	1	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2	3	0	・年2回は最低でも面談が必要だと思う。	必要に応じて随時面談や子育てに関する助言を行っておりま す。子育てに関する相談事がありましたら、随時ご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	3		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	3	1	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2	1	0	いつも丁寧に報告してくれて安心して預けることができています。今後お願いしたい。	今後とも安心していただけるよう、努めてまいります。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	16	1	0	3		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	14	2	0	4		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	13	5	0	2		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	2	1	1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	3		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	14	3	0	3		
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	2	0	2		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	18	0	0	2		
	28	事業所の支援に満足していますか。	17	1	1	1		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和7年2月14日				
長井市すみれ学園		利用児童数 12施設23人 令和7年1月24日 回収数 10施設				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、 具体的でわかりやすく、取り入れ やすいものですか。	8	1	0	・ 具体的な子どもの姿に応じた支援は元 より、家庭・保護者に見合った支援方法 を提示していただき、保育実践で大変役 に立った。 ・ 児童の見取りを丁寧にしてくださっ ているので、助言や説明は大変参考にな る。 ・ すみれ学園での様子を直接聞くことが できるので難しい。助言に結び付くもの は現在のところは得られない。 ・ 助言というよりは、情報共有がメイン のため、今後はそのような視点からの話 し合いもしたいと考えている。	日々の様子を先生方が細かく教えてく ださり、支援員もお子さんの状況をと らえて考えることができています。ご 協力ありがとうございます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・ 技術等に満足していますか。	8	1	0	・ 意見や情報が常に専門的視点にあり、 大変満足している。 ・ 児童の特性を理解し、実態に沿った適 切な支援をしていただき、大変助かって いる。 ・ 利用児の成長につながるアドバイスを 期待したい。 ・ 知識、技術よりもしっかり子ども達一 人一人の姿を見てくれている。そちらの 方が時として大事であると考えている。	利用時の成長につながるような支援方 法の共有や助言ができるよう今後も努 めてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適 時・適切に回答してくれていますか。	8	1	0	・ 現場の困り感を受け入れ、その都度丁 寧に対応していただいた。 ・ 施設での様子を詳細に教えていただ けて児童の様子がよくわかる。あらゆる質 問に対して丁寧にご回答いただける。 ・ すみれ学園での様子について回答して くれる ・ 訪問してくださる方がその都度違い、 訪問指導員によっては適切な回答が得ら れない場合がある。 ・ いつも快く対応してもらっている。	どの職員が訪問しても適切な回答がで きるよう、事業所内での共通認識を持 つよう今後も努めてまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したこと で、課題や困りごとが解消または 軽減されましたか。	7	2	0	・ 療育と保育の併用における課題を互い に共有することで、保育の方向性・課題 解決の手がかりを見出すことができた。 ・ 児童の課題・困り感を共有すること で、同じ目線で児童の指導にあたること ができるため、課題解決に向けて協力し て取り組めるという意味で大変良い。 ・ 異なる環境で過ごしているため情報交 換を交えて課題のすり合わせが必要だ と思う。 ・ まだ通所して間もないお子さんが多い ので、問題解決や軽減というのはない が、今後もしっかり連携を図っていきたい。	今後も児童の課題や困りごとを共有 し、課題解決に向け連携を図ってまい ります。

5	事業所からの支援に満足していますか。	7	2	0	・家庭支援・保護者支援の在り方について多くを学び、総合的に保育の質向上に繋がったと感じ満足している。 ・満足している。いつも丁寧にご対応いただき、感謝している。 ・情報交換できるのは有難い。 ・いつもにごやかに対応して下さい、園としても安心でお話ができる。	今後も支援に満足していただけるよう、丁寧な対応をしてみたい。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・すべての職員の皆様お話しやすく、学校での様子などを速やかに情報共有できることが大変有り難い。いつも温かくお迎えいただきありがたい。 ・園とすみれ学園さんとは全く異なる環境で、助言を得るといより互いに情報交換をする形となっている為、回答が難しい。今後、情報交換を活かしながら互いの施設の中での課題を話しあい、利用児の成長や発達に繋がるようになればと思う。 ・通所児童の指導計画を保育所にも教えて頂ければありがたい。 ・細やかな連携を取っていただき、大変ありがたい。すみれカフェや研修なども、今後ぜひ参加させていただく機会があればと思う。 ・個別支援の良さと集団での良さの両方がうまく機能できるように今後とも連携を図りながら支援サポートを行っていかれたらと思っている。 ・園児が通所するにあたり、情報交換会を行っていただいたことで、園としても安心してすすめることができたと感じている。今後就学にあたりおうちの方も含め各関係期間の方々と話し合いの機会がもてたらよい。 ・担当者が保育所等訪問支援に時間を割くことが難しい状況もあり、該当児童が落ち着いている場合には訪問の仕方等について柔軟性を持って対応できるように検討してほしい。					多くの園・学校に保育所等訪問支援を快く受けていただき、また、たくさんのご意見を頂戴し、大変感謝しております。 今後もお子さん1人1人の成長発達に向けて、先生方と利用児童の対応について一緒に考えさせていただければと思います。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		長井市すみれ学園		公表日			令和6年2月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職種、人数的には配置されているが他の業務もあるため、実際に支援員が訪問できる日は限られている。お子さんの体調不良等で日程をずらした場合、都合が合わずに次回訪問まで間が空いてしまうことがある。	様々な職種で連携し、訪問する支援員を固定しないことで工夫している。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		小さな施設なので職員数も少なく、朝会会議、振り返り以外にも支援について常に話し合う機会がある。	今後も常に目標設定と振り返りを行いながら支援にあたっていく。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			保護者向け評価表で出た意向等を今後の支援に生かしていく。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議、朝会会議、振り返りを行って意見を把握し、業務改善につなげている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は行っていないため、来年度より実施を検討したい。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			十分でない部分があるため、訪問先施設の担当者等と連携し、意向を盛り込むようにしていく。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			職員間の共有が不十分な点もあるため改善していく。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○				

の 提 供	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			職員間の共有が不十分な点もあるため改善していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝朝会会議を行い、その日の支援等について確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		全員に共有できてないことがあるが気付いたことはその都度職員間で話し合っている。	振り返りを実施しているがその日のうちにできない時もあり、朝会会議などで共有している。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			振り返りまでは不十分な現状もあるため、支援の検証を行い、改善できるよう努めている。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		検討内容に伴い、親、施設職員に加え、学校職員や保育園の職員、市職員に参加してもらっている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			昨年度まで対象者なしだったが、今年度は対象者がいるため、情報共有を行う予定。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		園長が参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お会いできない保護者の方には、連絡ノートやお便り、電話などで利用児童の状況をお伝えしている。お会いした保護者には都度利用児童の状況をお伝えし、共通理解を持てるよう努めている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		長井市で行っているペアレントプログラムについて個別にご案内を行っている。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			

保護者等への説明等	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的ではないが、悩み事や相談事が聞かれた際は都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会はありませんが、月1回開催しているすみれカフェでは保護者同士で交流する機会となっているため、ぜひ皆さんに参加していただきたいと考えている。	令和7年度はすみれカフェだけではなく、保護者同士で交流する機会を設けたいと考えている。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に園だよりや機関誌「ほっぺ」の発行を行っている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードや写真等でわかりやすいように工夫している。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先ではその都度担当者と情報交換をし、共有している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		報告書は毎回必ず作成し、ご家族にもお渡ししている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		できる限りこちらの情報をお伝えしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルの策定を行うとともに決められた回数の訓練を実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			今までヒヤリハットの事例がなかったが、今後事例があればヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた検討を行っていく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			身体拘束の必要な対象者はいない。やむを得ず身体拘束が必要な場合は、十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載する。